

おたるしりつしょうがっこう  
小樽市立小学校の学しゅうかだい(2年生)

5月25日(月)～29日(金)

【こくご】 ☆おうちの人と そうだんして がくしゅうしていきましょう。

【べんきょうすること】 ※課題とは別内容ですが、光村図書ホームページ（光村図書からのお知らせ）に、学習支援コンテンツもございます。

◎『同じぶぶんをもつ かん字』（きょうか書<sup>しよ</sup>58～59ページ）

- (1) きょうか書<sup>しよ</sup>58ページのかん字を、こえに出して 読み<sup>よ</sup>みましょう。  
6つのかん字を見て、同じぶぶん<sup>おな</sup>を さが<sup>さ</sup>しましょう。
- (2) きょうか書<sup>しよ</sup>59ページ 上のだんの 8つの文を 読み<sup>よ</sup>みましょう。あたらしいかん字は 59ページの下に 読みかた<sup>よ</sup>が書いてあります。  
・の口の中の かん字2つの 同じぶぶん<sup>おな</sup>を さが<sup>さ</sup>しましょう。
- (3) 8つの文を、きょうか書<sup>しよ</sup>をよく見ながら、ノートに書き<sup>か</sup>みましょう。

◎『うれしい ことば』（きょうか書<sup>しよ</sup>60～61ページ）

- (1) ともだちや、おうちの人から、いままでに言<sup>い</sup>ってもらったことばの中で、うれしかったことばを おもい出<sup>い</sup>してみましょう。
- (2) どんなときに、どんなことばを言<sup>い</sup>てもらおうと うれしくなるか かんがえ<sup>かん</sup>みましょう。
- (3) きょうか書<sup>しよ</sup>61ページの、しかくの中の文<sup>ぶん</sup>しょうを読み<sup>よ</sup>みましょう。しかくの中の文<sup>ぶん</sup>しょうをお手本<sup>てほん</sup>にして、自分がうれしかったことばと、そのときのできごとをノートに書き<sup>か</sup>みましょう。

◎『かん字のひろば』（きょうか書<sup>しよ</sup>62ページ）

- (1) きょうか書<sup>しよ</sup>62ページの 絵<sup>え</sup>の中にある かん字<sup>かん</sup>を読み<sup>よ</sup>みましょう。
- (2) 〈きれい〉の文<sup>ぶん</sup>のように、絵<sup>え</sup>の中のかん字<sup>かん</sup>をつかって 文<sup>ぶん</sup>をつくり、ノートに書き<sup>か</sup>みましょう。文<sup>ぶん</sup>のおわりには「。」をつけ<sup>つけ</sup>ましょう。

◎あたらしいかん字

- 「今」～「歩」（きょうか書<sup>しよ</sup>59～61ページ）まで とりくみ<sup>とり</sup>みましょう。
- (1) 字<sup>あ</sup>の形<sup>かたち</sup>や書き<sup>か</sup>じゆんに気<sup>き</sup>をつけて、ノートに れんしゅう<sup>れん</sup>しましょう。

【保護者のかかわり方のポイント】 ※可能な範囲でお願いします。


- 『同じぶぶんをもつかん字』では、漢字の「同じぶぶん」をお子さんと一緒に確かめてみてください。新出漢字がたくさん出てきます。一緒に読んであげることでお子さんの理解度が深まっています。一人で上手に読めたところは、大いにほめてあげてください。
- 『うれしいことば』では、どんなときにどんなことばがうれしかったのか、お子さんのお話を聞いてあげてください。
- 『かん字のひろば』では、絵の中の言葉を使って文が書けているか、文末に「。」がつけられているかなどを確かめて、上手に書けているところをほめてあげてください。

おたるしりつしょうがっこう  
**小樽市立小学校のがくしゅうかだい(2年生)**

5月25日(月)～5月29日(金)

**【算数】**

保護者の皆様へお願い 一緒に考えたり、答えを確かめたり説明を聞いてあげたりしてください。


＜<sup>がくしゅうないよう</sup>学習内容＞  は べんきょうしていくときのだいじなことです。

◆「たし算」(きょうかしよ30～32ページ)

1 きょうかしよ30ページを<sup>がくしゅう</sup>学習しましょう

(1) 30ページの葉っぱ<sup>がくしゅう</sup>をよんで、 $49 + 31$ のひっ算のしかたをかんがえましょう。

①  $28 + 17$ とちがうところは何かかんがえましょう。

 答えに0がありますね!


②  $49 + 31$ のひっ算をノートに書きましょう。

③ 30ページのもんだい6をやってみましょう。

(2) 30ページの葉っぱ<sup>がくしゅう</sup>をよんで、 $4 + 27$ のひっ算のしかたをかんがえましょう。

① 2人のかんがえを見て、正しいのはどちらかかんがえましょう。



 ゆきさんが正しいですね。はるさんは、一のくらいのかずを十のくらいにたしています。ひっ算は「くらいをそろえる」ことがたいせつですね。

② 30ページのもんだい7、8、9をやってみましょう。

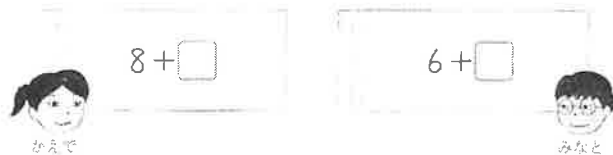
2 きょうかしよ31～32ページを<sup>がくしゅう</sup>学習しましょう

(1) 31ページの葉っぱ<sup>がくしゅう</sup>をよんで、あわせてどこあるかかんがえましょう。

① えを見て どんなばめんなのか おうちの人に せつめいしてきましょう。

② どんなしきになるかかんがえて、ノートに書きましょう。


 2人の気もちになって2つのしきをかんがえましょう!



③  $8 + 6$ と $6 + 8$ のけいさんをして、こたえをくらべましょう。

 しきはちがうけど、こたえはおなじですね。

④ 32ページの「たし算のきまり」をよんで、ノートに書きましょう。

 いろいろなたし算でたしかめてみましょう!

⑤ 32ページのもんだい10、11をやってみよう。

$$\begin{array}{r} 1 \\ 28 \\ + 17 \\ \hline 45 \end{array}$$

ちがいは?

$$\begin{array}{r} 49 \\ + 31 \\ \hline \end{array}$$